



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年1月25日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 エンプラス
 コード番号 6961 URL http://www.enplas.com

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 横田 大輔

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画管理本部 (氏名) 星野 清孝 TEL 03-6268-0259
 グループフィナンシャルオフィス部門長

四半期報告書提出予定日 平成30年2月8日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	25,678	3.0	3,772	7.4	3,603	0.3	2,544	△46.7
29年3月期第3四半期	24,941	△15.6	3,513	△56.9	3,590	△56.7	4,773	△17.8

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 3,137百万円 (△39.0%) 29年3月期第3四半期 5,145百万円 (△6.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	198.85	198.21
29年3月期第3四半期	373.05	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	58,035	52,970	90.9	4,121.32
29年3月期	55,249	50,783	91.7	3,958.65

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 52,733百万円 29年3月期 50,658百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	-	40.00	-	40.00	80.00
30年3月期	-	40.00	-	-	-
30年3月期(予想)	-	-	-	40.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,000	3.1	5,000	20.4	5,000	22.6	3,400	△34.0	265.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期3Q	18,232,897株	29年3月期	18,232,897株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	5,437,575株	29年3月期	5,435,965株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期3Q	12,796,731株	29年3月期3Q	12,797,043株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

当社は、平成30年1月25日（木）に機関投資家及びアナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する四半期決算説明資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国においてハリケーンの影響からの回復が進むとともに雇用が伸長し、小売売上高にも拡大が見られました。中国では個人消費が好調となる一方で輸出の伸びは縮小しており、製造業への環境規制強化による景況感の悪化も懸念されます。新興国・地域においては資金流入の一服を受けて各国で株価、通貨が弱含んだものの底堅い内需に支えられ、総じて好調を維持しました。わが国経済は、賃金が伸び悩み、個人消費が力強さを欠きながらも、インバウンド需要が引き続き好調で設備投資も堅調に推移しましたが、不安定な北朝鮮情勢、深刻な人手不足の継続など、景気の先行きは予断を許さない状況が続いております。

このような状況の中、当社グループでは、更なる成長を目指すため、以下を今期の経営基本方針とし、グローバル競争の激化を始めとする当社を取り巻く環境の変化に迅速に対応することで企業価値の向上及び株主価値の最大化を目指しております。

1. Operational Excellence/経営基盤・事業基盤の強化
2. Specification Technology/スペックビジネスの推進
3. Multiple Growth/多様な成長戦略の実行

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は25,678百万円（前年同期比3.0%増）となり、営業利益は3,772百万円（前年同期比7.4%増）、経常利益は3,603百万円（前年同期比0.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,544百万円（前年同期比46.7%減）となりました。

各セグメントの概況は次のとおりであります。

「エンブラ事業」

プリンター用部品は、国内外の良好な市況を受けて受注が拡大しました。自動車用部品は、国内顧客からの受注が底堅く、また、海外における新規顧客の獲得も販売増に貢献しました。この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は9,994百万円（前年同期比8.1%増）、セグメント営業利益は63百万円（前年同期は178百万円のセグメント営業損失）となりました。

「半導体機器事業」

各種ICテスト用ソケット、バーンインソケットは、国内における車載用途の好調な受注に加え、欧州、台湾や北米の主要顧客への販売も伸長しました。この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は9,359百万円（前年同期比21.8%増）、セグメント営業利益は1,625百万円（前年同期比53.4%増）となりました。

「オプト事業」

光通信関連の光学デバイスは、引き続きサーバー向けの需要が大きく、中華圏への販売が拡大しました。LED用拡散レンズは、新製品開発を進めるとともに顧客へのソリューション提案に注力しましたが、主要顧客の生産調整の影響を強く受け、低調に推移しました。この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は6,324百万円（前年同期比21.1%減）、セグメント営業利益は2,083百万円（前年同期比20.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は58,035百万円となり、前連結会計年度末比2,786百万円の増加となりました。流動資産につきましては181百万円減少しました。主な変動要因は受取手形及び売掛金で541百万円、原材料及び貯蔵品で365百万円増加し、現金及び預金で1,123百万円減少したことによるものです。固定資産につきましては2,968百万円増加しました。これは有形固定資産で611百万円、無形固定資産で2,308百万円増加したことによるものです。

負債は5,065百万円となり、前連結会計年度末比で599百万円の増加となりました。流動負債につきましては482百万円増加しました。主な変動要因は未払金で396百万円、未払法人税等で136百万円、買掛金で114百万円増加し、賞与引当金で205百万円減少したことによるものです。固定負債につきましては117百万円増加しました。主な変動要因はその他で71百万円、訴訟損失引当金で41百万円増加したことによるものです。

純資産は52,970百万円となり、前連結会計年度末比2,186百万円の増加となりました。主な変動要因は利益剰余金で1,520百万円、為替換算調整勘定で462百万円、その他有価証券評価差額金で129百万円増加したことによるものです。その結果、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は90.9%となり、前連結会計年度末比で0.8ポイント減少しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年10月20日に公表しました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	25,686	24,562
受取手形及び売掛金	7,022	7,564
有価証券	200	200
製品	766	916
仕掛品	513	549
原材料及び貯蔵品	1,115	1,481
未収還付法人税等	595	232
その他	1,541	1,756
貸倒引当金	△8	△10
流動資産合計	37,434	37,252
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,931	3,276
機械装置及び運搬具(純額)	2,149	2,146
土地	6,716	6,796
その他(純額)	1,090	1,280
有形固定資産合計	12,888	13,500
無形固定資産		
ソフトウェア	461	396
のれん	102	2,473
その他	4	6
無形固定資産合計	568	2,876
投資その他の資産	4,358	4,406
固定資産合計	17,815	20,783
資産合計	55,249	58,035

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,141	1,256
未払金	613	1,009
未払法人税等	297	433
賞与引当金	585	379
役員賞与引当金	58	54
その他	906	950
流動負債合計	3,602	4,084
固定負債		
退職給付に係る負債	25	30
役員退職慰労引当金	15	14
訴訟損失引当金	456	498
その他	366	437
固定負債合計	863	980
負債合計	4,465	5,065
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,080	8,080
資本剰余金	7,569	7,569
利益剰余金	48,223	49,744
自己株式	△13,989	△13,996
株主資本合計	49,884	51,397
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	354	483
為替換算調整勘定	379	842
退職給付に係る調整累計額	40	10
その他の包括利益累計額合計	774	1,336
新株予約権	50	137
非支配株主持分	74	98
純資産合計	50,783	52,970
負債純資産合計	55,249	58,035

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	24,941	25,678
売上原価	13,279	13,553
売上総利益	11,662	12,125
販売費及び一般管理費	8,148	8,352
営業利益	3,513	3,772
営業外収益		
受取利息	25	41
受取配当金	17	17
為替差益	218	—
スクラップ売却益	38	29
その他	79	65
営業外収益合計	379	155
営業外費用		
為替差損	—	118
固定資産賃貸費用	17	15
持分法による投資損失	262	184
その他	21	5
営業外費用合計	302	324
経常利益	3,590	3,603
特別利益		
固定資産売却益	1,419	9
訴訟損失引当金戻入額	838	—
特別利益合計	2,258	9
特別損失		
固定資産売却損	16	4
子会社整理損	2	—
訴訟損失引当金繰入額	—	38
特別損失合計	19	43
税金等調整前四半期純利益	5,829	3,569
法人税、住民税及び事業税	834	741
法人税等調整額	202	253
法人税等合計	1,036	995
四半期純利益	4,792	2,573
非支配株主に帰属する四半期純利益	18	29
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,773	2,544

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
四半期純利益	4,792	2,573
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	133	129
為替換算調整勘定	235	454
退職給付に係る調整額	123	△30
持分法適用会社に対する持分相当額	△138	10
その他の包括利益合計	352	563
四半期包括利益	5,145	3,137
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,124	3,106
非支配株主に係る四半期包括利益	21	31

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。